



# 五中だより



第10号  
令和2年10月13日  
調布市立第五中学校  
校長 生田目 将

『思いやり・マナー・規範意識を大切に、集団モラルの高い学校を目指す』

校長 生田目 将

タイトルに10月の重点目標を掲げました。特に「思いやりのある優しい気持ちをもって学校生活を過ごす」とことと「規範意識を高め、正しい判断力を身に付ける」ことを心がけてほしい月です。

そのヒントに、私は「勇気」と言う言葉を思い浮かべます。

勇気にまつわる名言として、英国の政治家でノーベル文学賞を受賞したウィンストン・チャーチルが「金を失うのは小さく、名誉を失うのは大きい。しかし、勇気を失うことはすべてを失う。」という言葉を残しています。感染症による制約の多い「新しい学校生活」に慣れない不自由さを感じる中、今月は、ようやく全校での学校行事が実施できます。楽しみでなりません。

その皮切りに生徒会役員選挙があります。勇気を振り絞り立候補した立候補者のみなさんに私は深く敬意を表します。希望とやる気・意気込みをもつことはもとより、立候補という形の行動は勇気なくしてできるわけがありません。この行動は選挙結果にかかわらず、何事にも変えられない大切な経験となるでしょう。選挙権をもつ全校生徒のみなさんが、その勇気に誠意をもって投票で応えてくれることを期待しています。余談ですが、後述(裏面)の【生徒会役員選挙に向けて】の現生徒会長と選管委員長の思いの共有から第3学年の素晴らしさが際立ちます。

次に、体育大会があります。スローガン『「エール」全力の汗 仲間とともに“今”全力の恩返しを』という素敵な合言葉ができました。「仲間との協働、クラスの団結、学年のまとめり」「チャレンジする気持ち」「クラスや学年のために言動すること」などを意識して、学校全体が一つになり、悔いのない素敵な思い出となる行事にしてほしいと願います。この大きな行事を通して10月はチャーチルの言う「真の勇気」について考えるチャンスとなるでしょう。

また彼は「勇気とは起立して声に出すことである。また、勇気とは着席して耳を傾けることでもある」とも言っています。起立して声に出すことも耳を傾けることも言葉が不可欠であることは言うまでもありません。まさに、『優しい言葉の五中生』であることも問われます。「ありがとう」「うれしい」「すごいね」「大丈夫」「ごめんなさい」「もっとこうの方がいい」「その言動はよくない」など、これらの言葉を自他のために心を込めて自信をもって発する。自分に向けて発せられた言葉なら真摯に受け止めることができる。そんな『勇気』ある五中生であり続けてほしいと願っています。

## ★野球部★

ブロック新人大会 第3位 都大会出場!

# 活躍する五中生

## ★陸上競技部★

はちおうじT&Fトライアル

☆男子3年100m	第1位	記録	11秒17
	第2位	記録	11秒36
☆男子中学3000m	第3位	記録	9分40秒14
☆男子中学4×100m	第3位	記録	45秒69
☆女子中学 走幅跳	第1位		5m06

## ★英語学芸大会 (校内最優秀者) ★

☆Speaking 部門      ☆Performance 部門

## 【体育大会実行委員長】

先日の実行委員で決まったスローガンについて紹介します。今年度のスローガンは“「エール」全力の汗、仲間とともに、今 全力の恩返しを“に決まりました。今年度はコロナウイルスの影響で行事が減っていてクラスの絆が強く結ばれていないと感じます。その絆を深め強くするために団結して全力で戦い汗を流して協力するという意味を込めて「全力の汗、仲間とともに」という言葉を使っています。また、その体育大会は生徒だけで行えるものではありません。体育大会がなくなってしまった学校もある中、話し合いを重ねて決断してくれた先生方、見に来られなくても応援してくれる家族や近隣の方たちなど、いろいろな人達から期待を背負っています。こうした応援に感謝し、恩返しするという思いを込めて「全力の恩返し」という言葉を使っています。1年生は初めての中学校の体育大会が縮小という形になってしまっていますが、一人一人が気持ちを切らさず実行委員を中心にクラスの絆を深め、全力を出し切れればよいと思います。2年生は、心と体が1周り成長し学校生活が充実する時期です。1年生に「2年生はすごいんだぞ。」と見せつけられるように、また3年生を超えていけるように全力で取り組んでください。そして、3年生。3年生は1, 2年生に最高学年としての貫禄やかっこいい姿を見せてあげてください。そうすればおのずと1, 2年生は3年生から学ぼうと思え、学校が1つに団結できると思います。どの学年も重要な役割をもっています。その役割を果たし、次のステージへ進めるようにしていきましょう。

## 【生徒会役員選挙に向けて】

生徒会の役割とは、生徒の代表として学校全体をまとめ、生徒自治や自主的な学校運営を推し進めていくことです。このような役割をもった五中生徒会は、これまでに沢山の活動を行ってきました。例えば、ペットボトルキャップ回収運動、五中生徒会キャラクターの作成、生徒会と語ろう Day の実施など数多くあります。第52期生徒会では、一人一人がスローガンを掲げ、そのスローガンの元、新企画を発案したり、今までの取り組みを更に活性化させたりしてきました。また、中央委員会では各委員の先頭に立って、学校がより良くなるよう発言したり活動内容を報告したりしています。このように生徒会は学校全体へ大きな役割を果たしています。そんな五中の未来のためにも、真剣にそして誠実に役員の方々を選挙または信任する必要があると思います。(第52期生徒会長)

以上の話からも分かる通り、楽しくて心から通いたいと思える学校づくりを先導して行うことが生徒会の役割です。その役割を果たす生徒会も大事ですが、それと同様に重要なのは生徒会役員を選ぶ皆さんではないでしょうか。生徒一人一人が学校についてより深く考えてこそ選挙は盛り上がると思います。これからの五中がより良くなるかどうかは皆さんの誠実かつ公平な選択にかかっているといっても過言ではありません。生徒会選挙で投票することは未来の五中のためにもであり、自らの安心で楽しい学校づくりのためでもあるのです。他人の意見に流されることなく自らの意志でこの先の五中を託す人を選択し、投票しましょう。(令和2年度選挙管理委員長)

### ★★10月の指導の重点★★

「思いやり・マナー・規範意識を大切に、集団モラルの高い学校を目指す。」

- 1 思いやりのある優しい気持ちで学校生活を過ごす。
- 2 公共のマナー(登下校を含む)を守る。
- 3 規範意識を高め正しい判断力を身に付ける。



〈学校住所・電話番号〉

〒182-0035 調布市上石原3丁目27番地1

電話 042(484)1311

ホームページ URL

<https://www.chofu-schools.jp/chofu5/index.html#>

